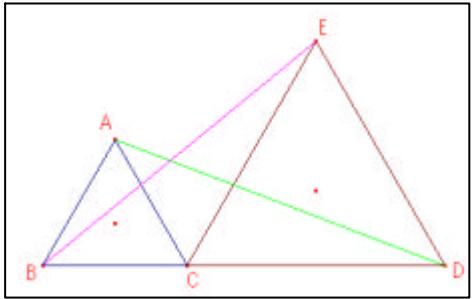
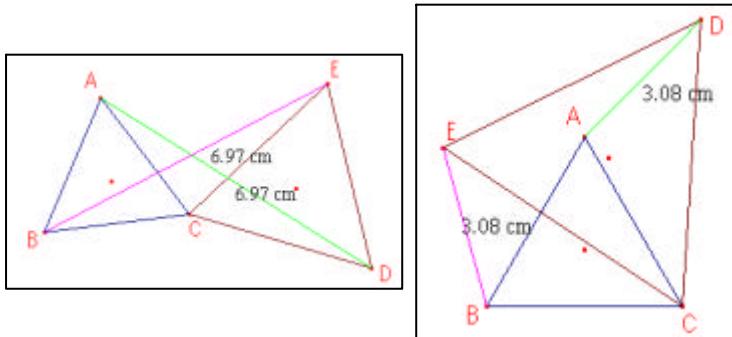
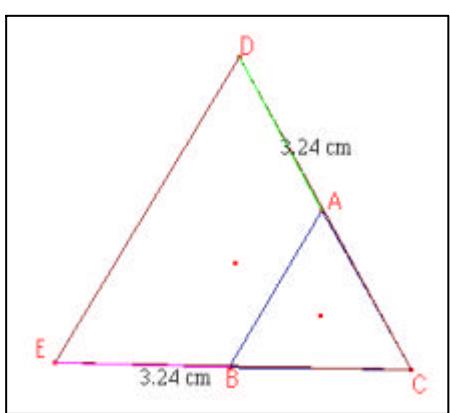


本時の目標と展開

正三角形の性質と三角形の合同条件を使って図形の性質を証明する。図形を動的にとらえることにより、図形の美しさに興味・関心を持たせる。

学習活動	指導上の留意点
<p>課題に取り組む。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの正三角形の頂点を結んだ線分AD、BEの性質を予想させ、実測により確認した後に証明させる。 証明を支援するためには、合同な三角形に着目させる。
<p>ブラウザを起動し、HPを開く。 http://www2.wind.ne.jp/mow/math/cabri/</p> <p>「2つの正三角形PART2」のページを開き、CABRIのデータをダウンロードし、コンピュータ上で図形を動かし課題への理解を深める。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形を移動、拡大・縮小しても性質が保存されるか予想させた後に、コンピュータ上で動かす。 証明した内容を実感した後に、証明のポイントとなったACEを計測、着目させながら、再度、動かす。 ACEを60度から引く場合は、全く別であるか否かを考えさせることにより、その角の大きさを負の値を用いれば、同じものであることに気づかせる。
<p>学習のまとめをする。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 図形を動的に、発展的にみるとことによって、様々な場合がひとつの中でも証明で説明できることに気づかせ、図形の美しさに気づかせる。 授業を通して、分かったこと、気づいたことを書かせる。